

大阪経済の情勢

(2021年3月指標を中心に)

2021年5月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」

需要面では、個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿; 2月)は減少。投資は、弱い動きとなっている。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(2月)では、生産は前月比横ばい、出荷は上昇。近畿の生産(2月)は上昇、全国の生産(3月)は上昇。企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(2月)は低下。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動は大幅に下押しされた状態が続いているため、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
		大型小売店販売(大阪)	コンビニ販売(近畿)	家電販売(大阪)	新車販売(大阪)	新設住宅着工(大阪)	建築物着工(大阪)	輸出(近畿)	関空外国人旅客
3月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
2月	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

		供給				
		生産		倒産	雇用	
		生産指数(大阪)	生産指数(全国)	倒産件数*(大阪)	有効求人倍率(大阪)	失業率*(近畿)
3月		▲	▲	▲	▲	▲
2月	▲	▲	▲	▲	▲	▲

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

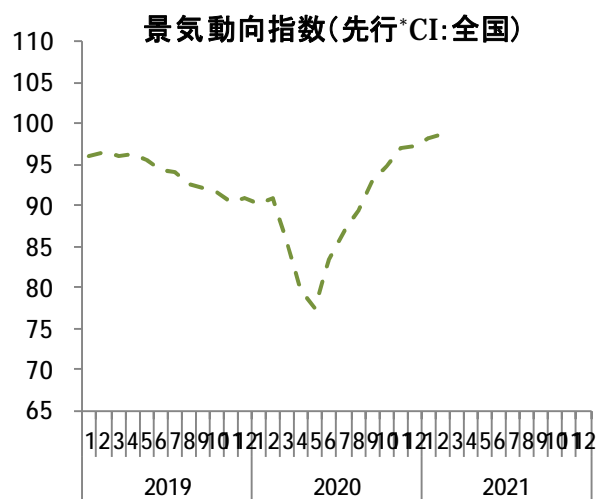
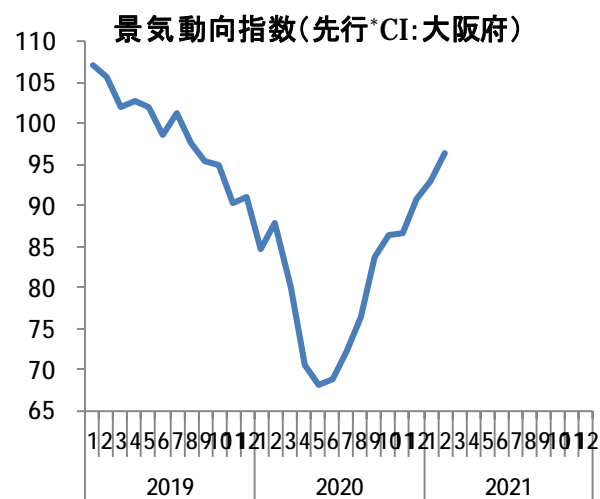
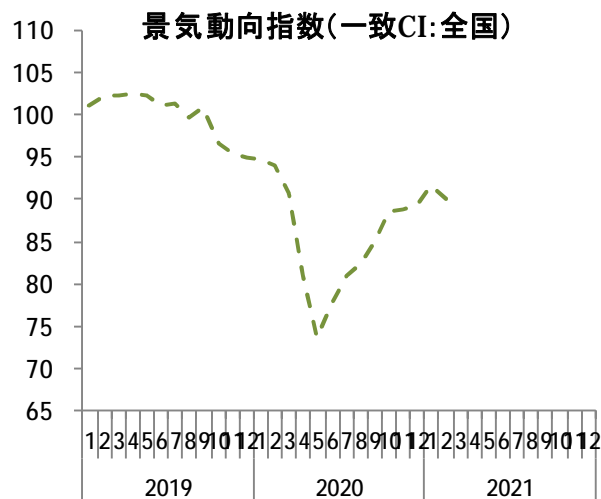
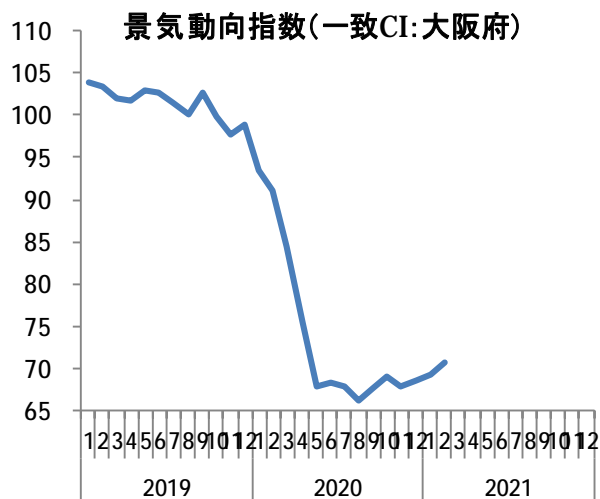
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2021年3月公表分) (2021年1月指標中心)	先月(2021年4月公表分) (2021年2月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター「大阪経済の情勢」	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。
内閣府「月例経済報告」	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。
近畿経済産業局「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。
日本銀行大阪支店「関西金融経済概況」	—	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、全体として持ち直している。もっとも、まん延防止等重点措置が実施されるもとの、サービス消費への下押し圧力は強い状態にある。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(2月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」「大阪税関管内輸入通関額」が上昇に寄与。全国(2月)の一致CIは低下、先行CIは上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

大阪府

	21年1月	2月	3月
先行CI	92.9	P 96.4	
一致CI	69.4	P 70.8	

全国

	21年1月	2月	3月
先行CI	98.1	98.7	
一致CI	91.7	89.9	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、2月速報)

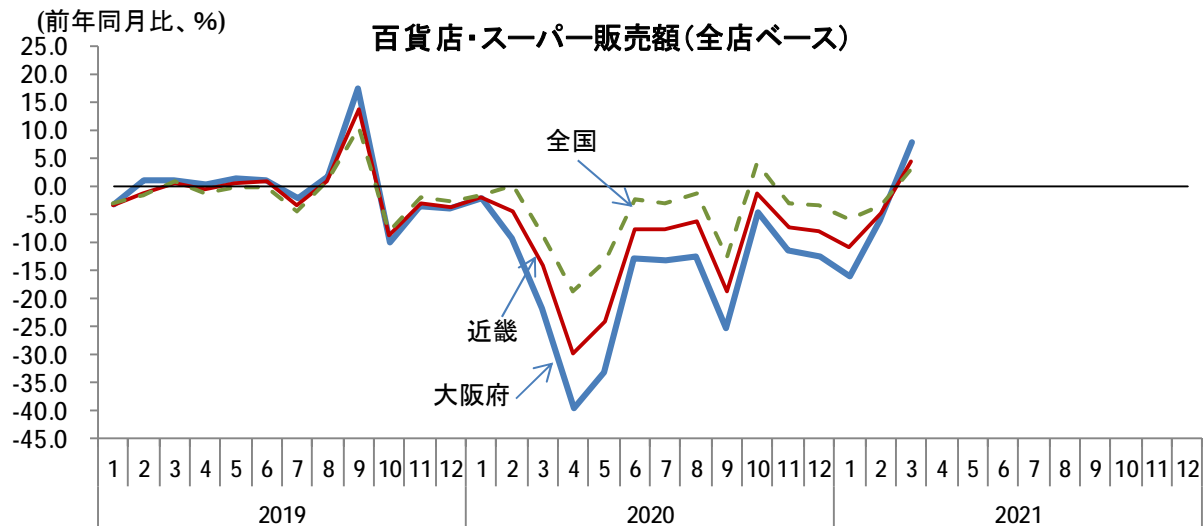
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
0.93	0.45	0.01	▲0.05	0.29	0.02	▲0.21

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加、は減少。家計消費支出(近畿;2月)は減少。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【18ヶ月ぶりの増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		21年1月	2月	3月
販売額(億円)	大阪府	1,280	1,197	P 1,353
前年比(%)	大阪府	▲16.1	▲6.1	P 7.9
	近畿	▲11.0	▲4.9	P 4.4
	全国	▲5.8	▲3.3	P 2.9

百貨店販売額(全店)

		21年1月	2月	3月
前年比(%)	大阪府	▲30.6	▲8.1	P 29.3
	全国	▲30.2	▲11.8	P 19.3

スーパー販売額(全店)

		21年1月	2月	3月
前年比(%)	大阪府	▲0.6	▲5.1	P ▲6.9
	全国	4.9	▲0.8	P ▲2.1

○コンビニエンスストア販売額(全店)【13ヶ月ぶりの増加。】

		21年1月	2月	3月
販売額(億円)	大阪府	628	587	P 665
前年比(%)	大阪府	▲7.0	▲8.2	P 3.4
	近畿	▲5.5	▲5.9	P 4.2
	全国	▲4.4	▲6.6	P 2.5

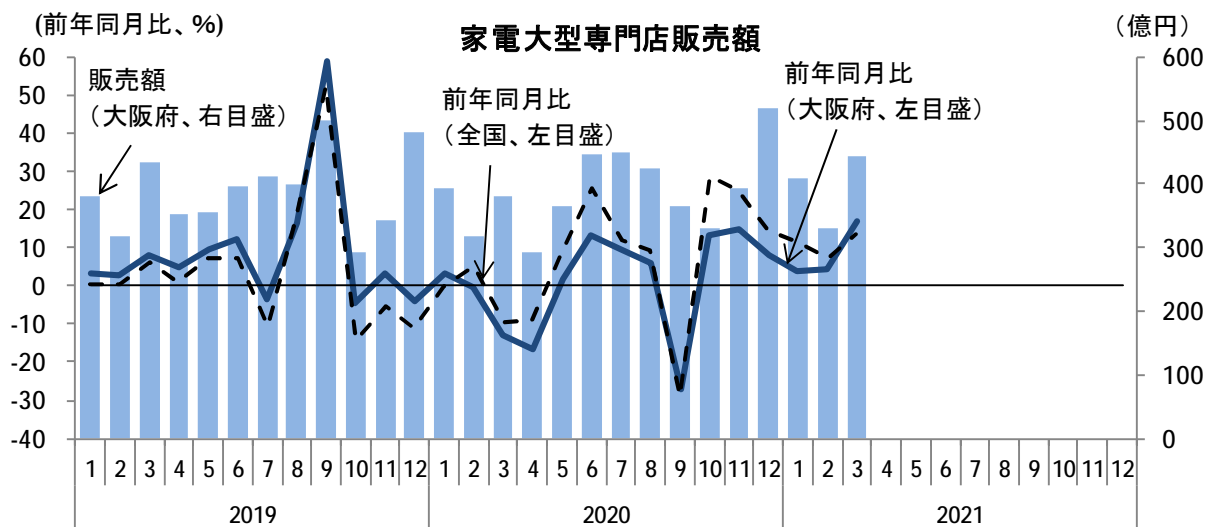
○家計消費支出【近畿(2月)は2ヶ月連続の減少。】

		21年1月	2月	3月
円	近畿	259,847	239,526	
前年比(%)	近畿	▲5.1	▲10.0	
	全国	▲6.8	▲7.1	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で6ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		21年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	3.8	4.4	P 16.8
	全国	11.4	7.2	P 13.6

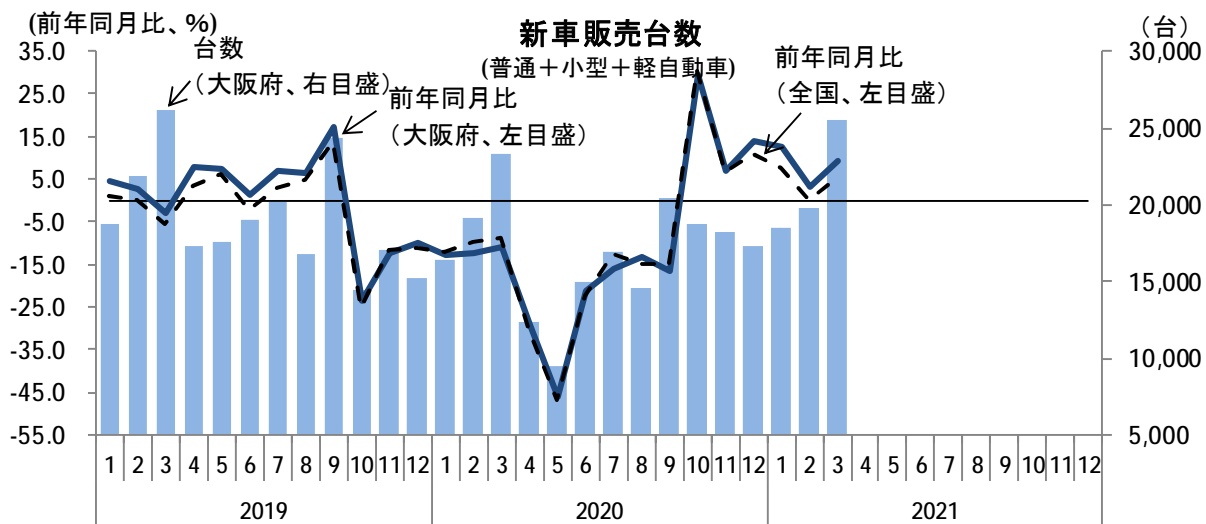
ドラッグストア販売額(全店)

		21年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	▲12.2	▲12.7	P ▲2.2
	全国	3.0	▲8.5	P ▲2.6

ホームセンター販売額(全店)

		21年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	5.5	▲5.7	P ▲5.8
	全国	10.7	▲0.1	P 0.3

○新車販売台数【前年同月比で6ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		21年1月	2月	3月
販売額(台)	大阪府	18,461	19,780	25,470
前年比 (%)	大阪府	12.6	3.1	9.2
	全国	7.8	0.0	5.2

車種別の増減

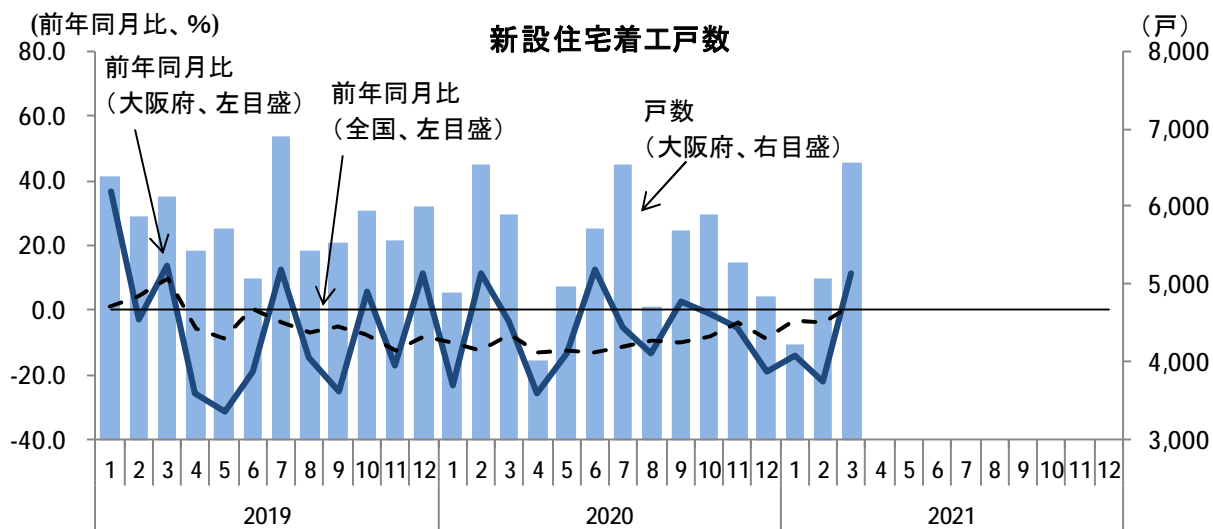
(大阪府、前年同月比(%)、3月)

普通車	小型車	軽自動車
11.1	▲0.2	17.2

[需要] 投資

投資は、弱い動きとなっている。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は減少。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で6ヶ月ぶりの増加。】

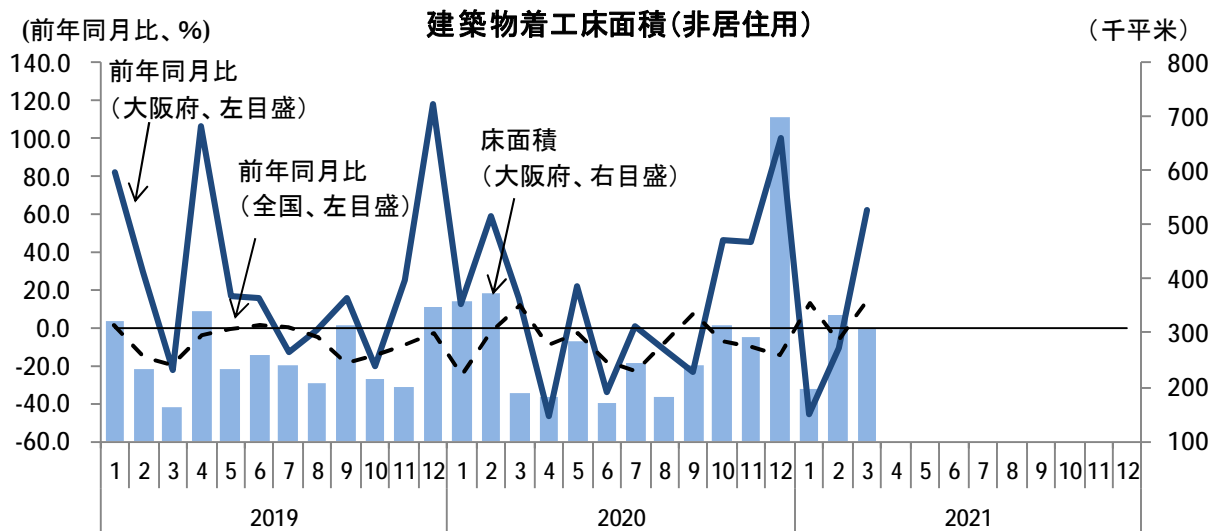


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		21年1月	2月	3月
戸数	大阪府	4,219	5,083	6,566
前年比 (%)	大阪府	▲14.0	▲22.3	11.6
	全国	▲3.1	▲3.7	1.5

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%), 3月)		
持家	貸家	分譲
14.2	37.3	▲7.8

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で3ヶ月ぶりの増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

		21年1月	2月	3月
千 m ²	大阪府	195	332	308
前年比 (%)	大阪府	▲46.0	▲10.9	62.3
	全国	13.2	▲7.2	14.9

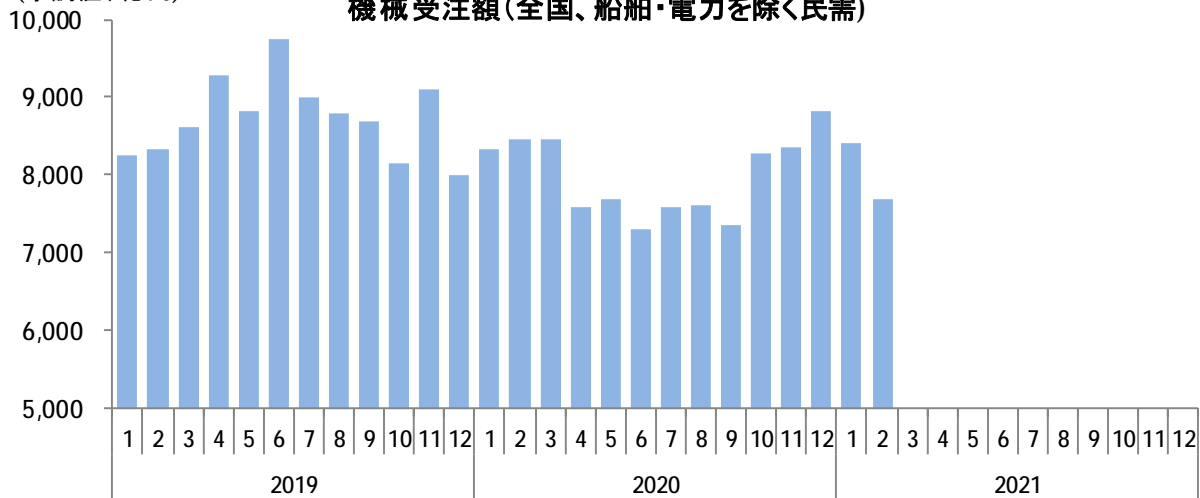
着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%), 3月)	
増加	製造業(52.7)、医療・福祉(10.5)、運輸業(9.0)
減少	教育・学習支援業(▲5.6)、宿泊・飲食サービス業(▲5.5)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

○機械受注額【2月(全国)は前月比で減少。】

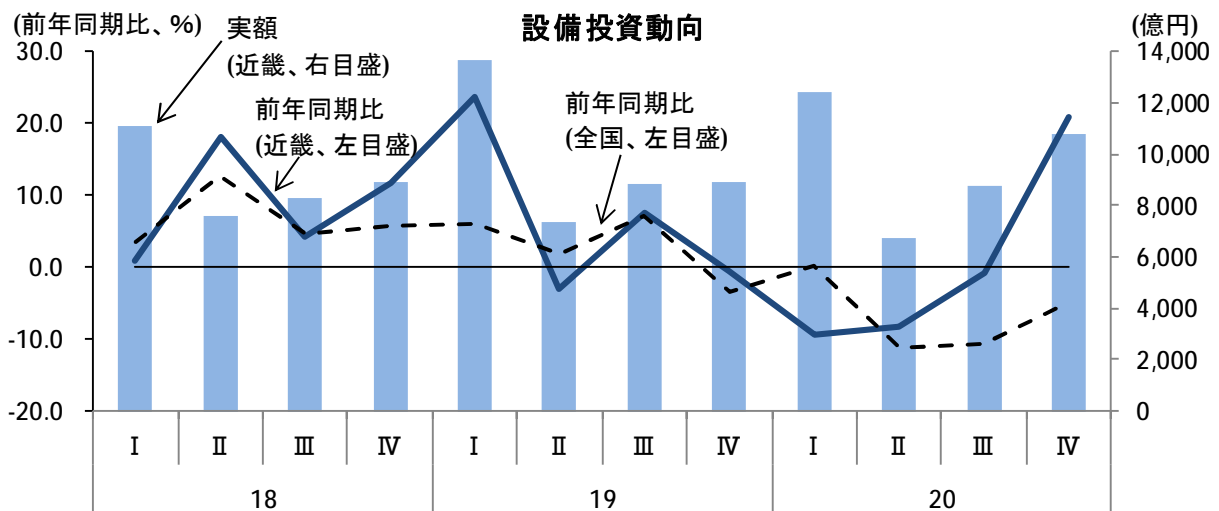
(季調値、億円)



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	21年1月	2月	3月
全国(億円)	8,417	7,698	

○設備投資動向【10~12月期(近畿)は前年同期比で5期ぶりの増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		20年4~6月	7~9月	10~12月
億円	近畿	6,741	8,786	10,791
前年同期比(%)	近畿	▲8.3	▲0.9	21.0
	全国	▲11.3	▲10.6	▲4.8

○公共工事請負金額【2ヶ月ぶりの減少。】

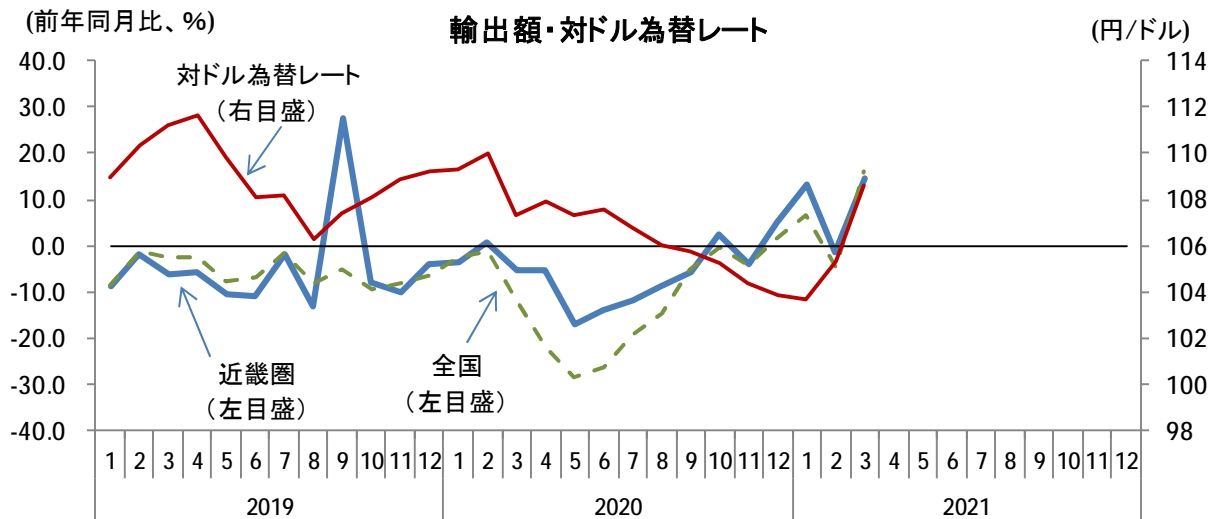
		21年1月	2月	3月
億円	大阪府	204	304	565
前年比(%)	大阪府	▲33.6	27.9	▲12.2
	全国	▲1.4	▲7.3	1.9

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【2ヶ月ぶりの増加。「建設用・鉱山用機械」、「非鉄金属」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】

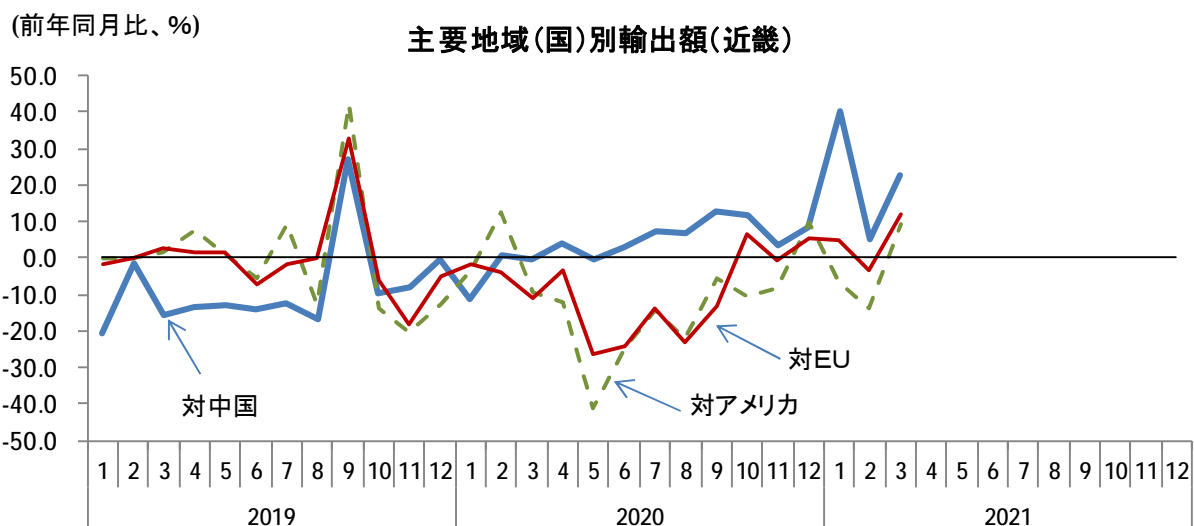


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		21年1月	2月	3月
輸出額(億円)	近畿	12,891	13,116	P 16,300
前年比 (%)	近畿	13.3	▲1.4	P 14.6
	全国	6.4	▲4.5	P 16.1
為替レート(円/ドル)		103.70	105.36	108.65

品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、3月)	
増加	建設用・鉱山用機械、非鉄金属
減少	鉄鋼、鉱物性燃料



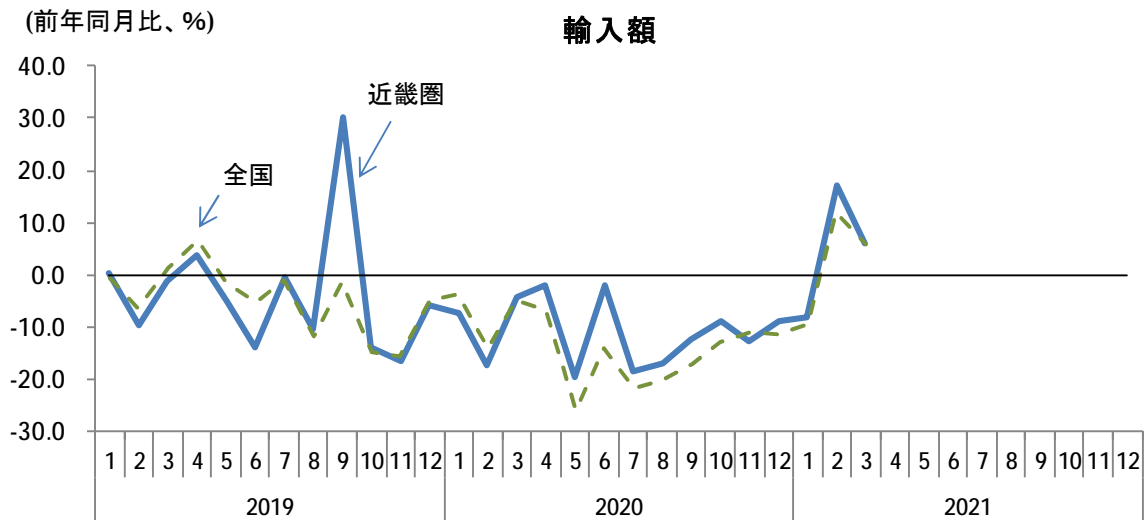
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、3月)

アジア(含む中国)	16.9	4ヶ月連続の増加
中国	22.4	10ヶ月連続の増加
EU	11.8	2ヶ月ぶりの増加
アメリカ	9.3	3ヶ月ぶりの増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【2ヶ月連続の増加。「医薬品」、「音響・映像機器(含部品)」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		21年1月	2月	3月
輸入額(億円)	近畿	11,585	P 10,689	P 12,491
前年比 (%)	近畿	▲8.3	P 17.0	P 6.2
	全国	▲9.5	P 11.8	P 5.7

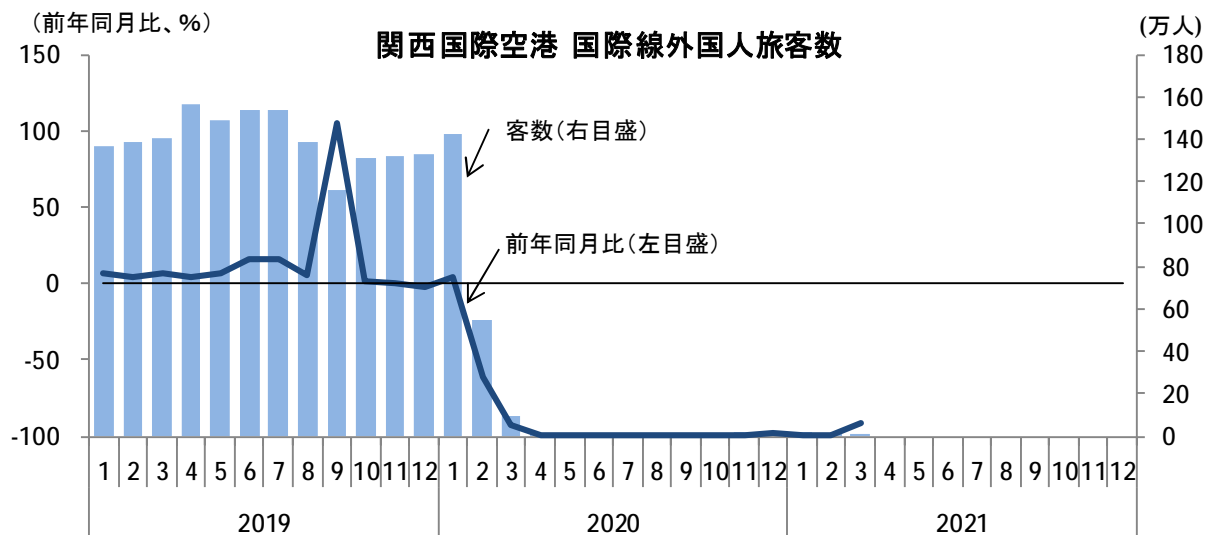
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、3月)

増加	医薬品、音響・映像機器(含部品)
減少	原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、3月

アジア(含む中国)	6.6	2ヶ月連続の増加
中国	4.5	2ヶ月連続の増加
EU	35.8	3ヶ月連続の増加
アメリカ	12.6	6ヶ月ぶりの増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で14ヶ月連続の減少。】



(資料)関西エアポート(株)

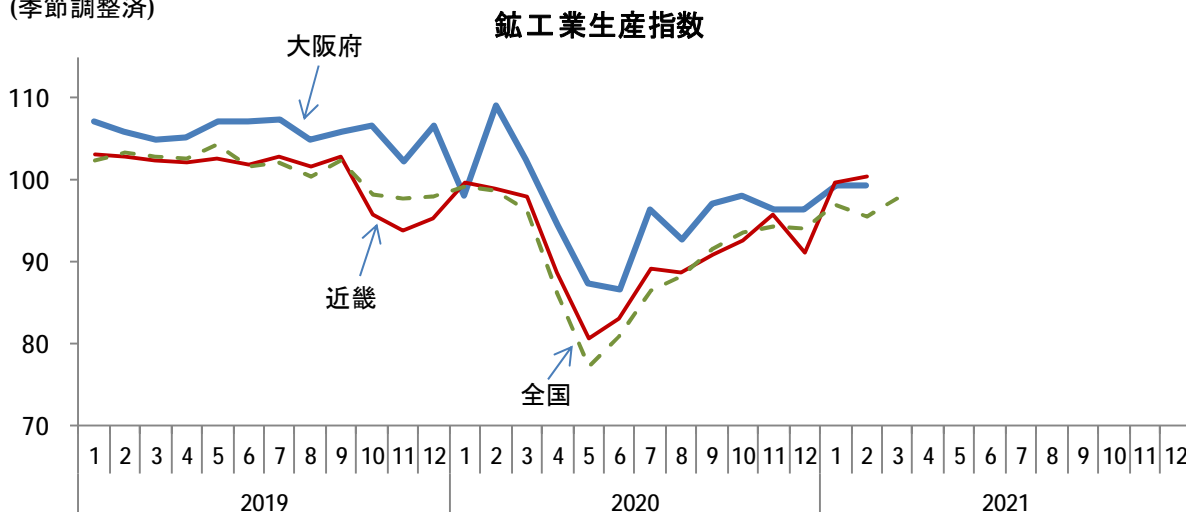
	21年1月	2月	3月
万人	2.0	P 0.5	P 0.8
前年比(%)	▲98.6	P ▲99.0	P ▲91.8

[供給] 生産・企業活動

生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(2月)では、生産は前月比横ばい、出荷は上昇。近畿の生産(2月)は上昇、全国の生産(3月)は上昇。企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。

○鉱工業生産指数【大阪府(2月)は前月比横ばい。「金属製品」、「生産用機械」などが上昇。近畿(2月、鉱工業)は2ヶ月連続の上昇。全国(3月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。】

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	21年1月	2月	3月
大阪府	99.3	P 99.3	
近畿	99.6	100.4	
全国	96.9	95.6	P 97.7

鉱工業出荷指数

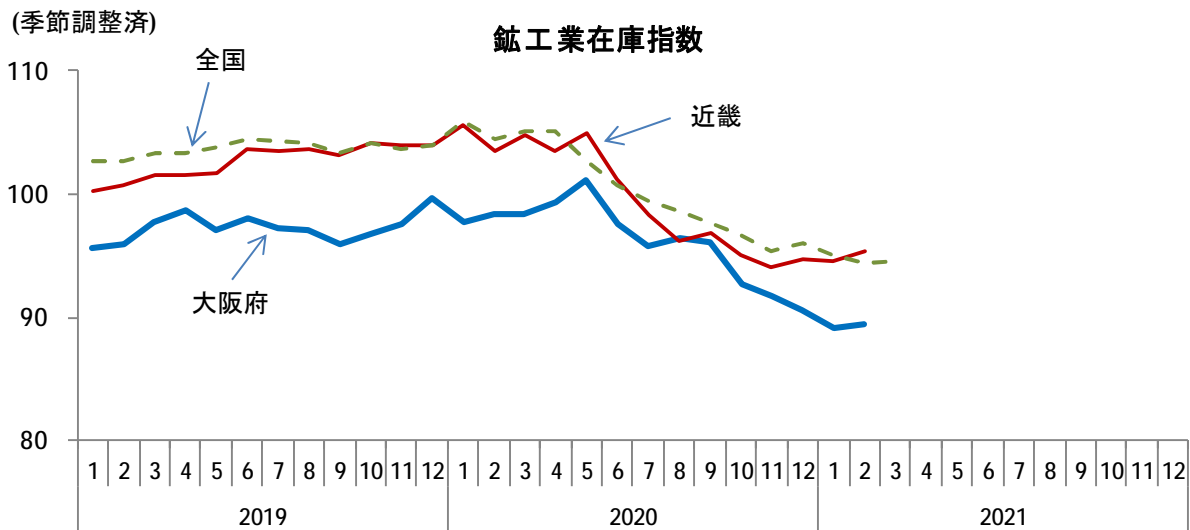
季調済	21年1月	2月	3月
大阪府	94.8	P 97.5	
近畿	97.5	97.8	
全国	95.6	94.4	P 95.2

生産指数における産業別の主な変動 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、2月速報)

上昇	金属製品(18.2):橋りょう、産業用アルミニウム製品
	生産用機械(9.4):ベンディングマシン、機械プレス
	電子部品・デバイス(13.9):アクティブ型液晶パネル
低下	化学(▲25.2):医薬品、界面活性剤
	石油・石炭製品(X):アスファルト、ジェット燃料油
	その他(X):金属製家具、炭素繊維

[供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(2月)は6ヶ月ぶりの上昇。「生産用機械」、「金属製品」などが上昇。近畿(2月)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(3月)は3ヶ月ぶりの上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

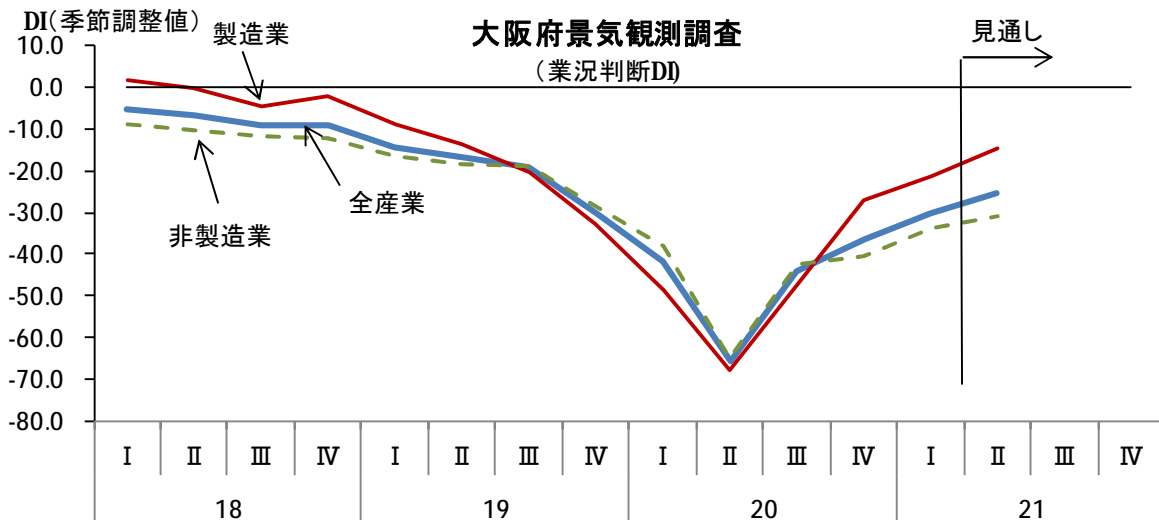
鉱工業在庫指数

季調済	21年1月	2月	3月
大阪府	89.1	P 89.4	
近畿	94.6	95.3	
全国	95.1	94.4	P 94.5

在庫指数における産業別の主な変動
 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、2月速報)

上昇	生産用機械(30.2): 金属工作専用機、ブルドーザ 金属製品(2.4): 作業工具、飲料用アルミニウム缶
低下	石油・石炭製品(X): 灯油、ガソリン 電気・情報通信機械(▲1.4): セパレート形エアコン(室外)、乾電池

○企業の業況判断【1~3月期(全産業)は3期連続の改善。】

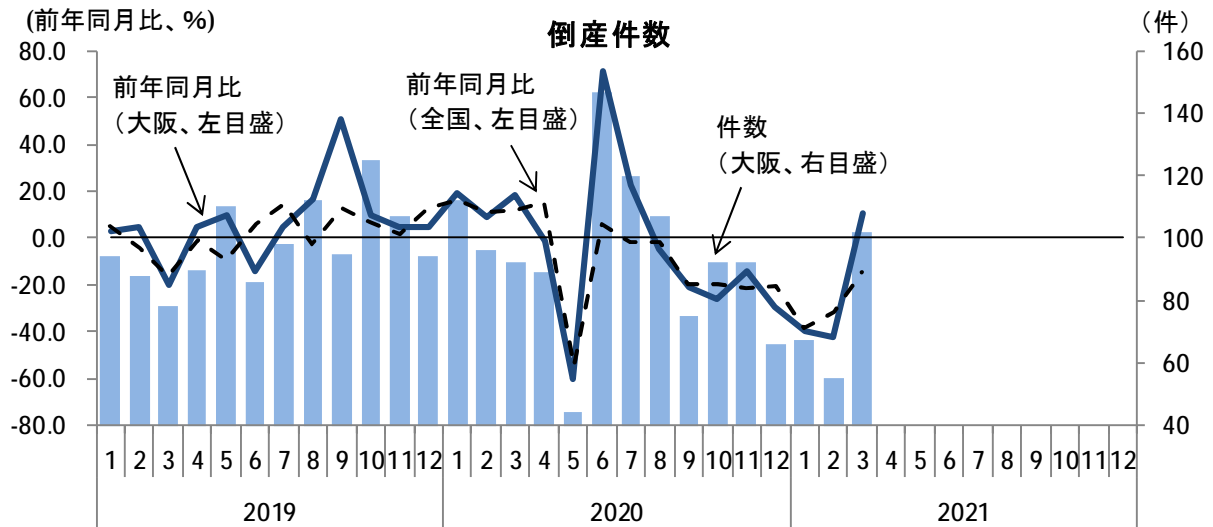


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	20年 7~9月	10~12月	21年 1~3月	4~6月 (見込み)
製造業	▲47.3	▲27.0	▲21.3	▲14.9
非製造業	▲42.5	▲40.4	▲33.9	▲30.9
全産業	▲43.9	▲36.4	▲30.3	▲25.6

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で8ヶ月ぶりの増加(悪化)、負債金額は前年同月比で5ヶ月連続の減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		21年1月	2月	3月
件	大阪府	67	55	102
前年比 (%)	大阪府	▲40.1	▲42.7	10.8
	全国	▲38.6	▲31.4	▲14.3

負債金額

		21年1月	2月	3月
億円	大阪府	45	29	89
前年比 (%)	大阪府	▲42.3	▲66.7	▲33.6
	全国	▲34.7	▲5.3	33.5

主要業種の倒産件数(大阪府)

	21年1月	2月	3月
建設業	8	17	21
製造業	5	6	11
卸売業	8	5	9
小売業	9	6	9
サービス業他	30	16	42

主な倒産(大阪府、3月)

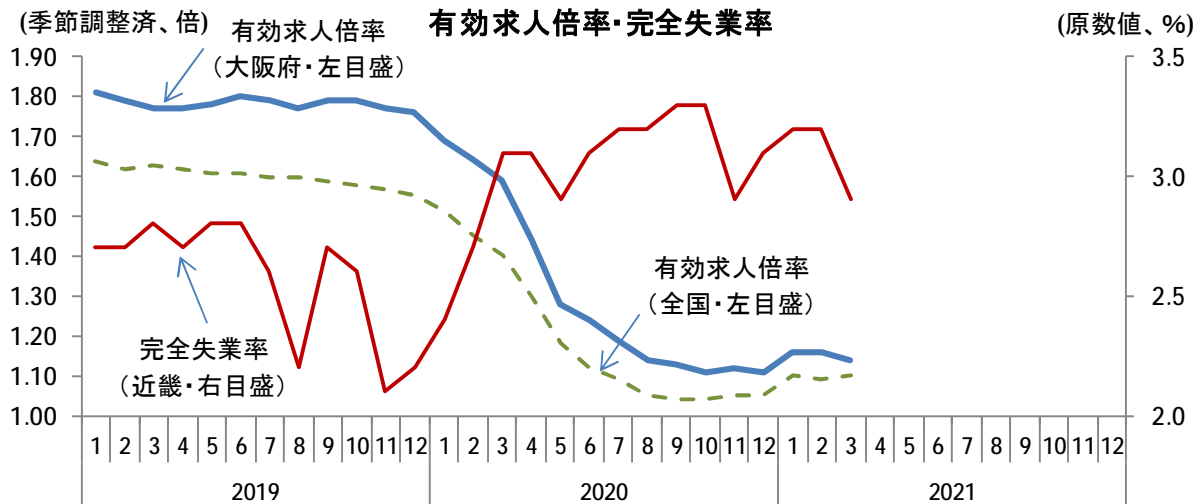
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
ファンシーショップ経営	1,400	販売不振
再生骨材製造、不動産管理	1,300	販売不振
クリーニング業	750	販売不振
ふぐ料理店経営ほか	600	販売不振
クリーニング業	354	販売不振
鋼構造物工事	311	販売不振

[供給] 雇用

雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(2月)は低下。

○完全失業率【近畿は13ヶ月ぶりの改善。】

有効求人倍率【大阪は3ヶ月ぶりの低下】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月連続の低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	21年1月	2月	3月
%	3.2	3.2	2.9
前年同月差	0.8	0.5	▲0.2

完全失業率(全国、季節調整値)

	21年1月	2月	3月
%	2.9	2.9	2.6
前月差	▲0.1	0.0	▲0.3

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	20年4~6月	7~9月	10~12月
大阪府	3.3	3.9	3.3
近畿	3.0	3.2	3.1
全国	2.8	3.0	2.9

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	21年1月	2月	3月
大阪府	1.16	1.16	1.14
全国	1.10	1.09	1.10

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	21年1月	2月	3月
大阪府	2.59	2.30	2.29
全国	2.03	1.88	1.99

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

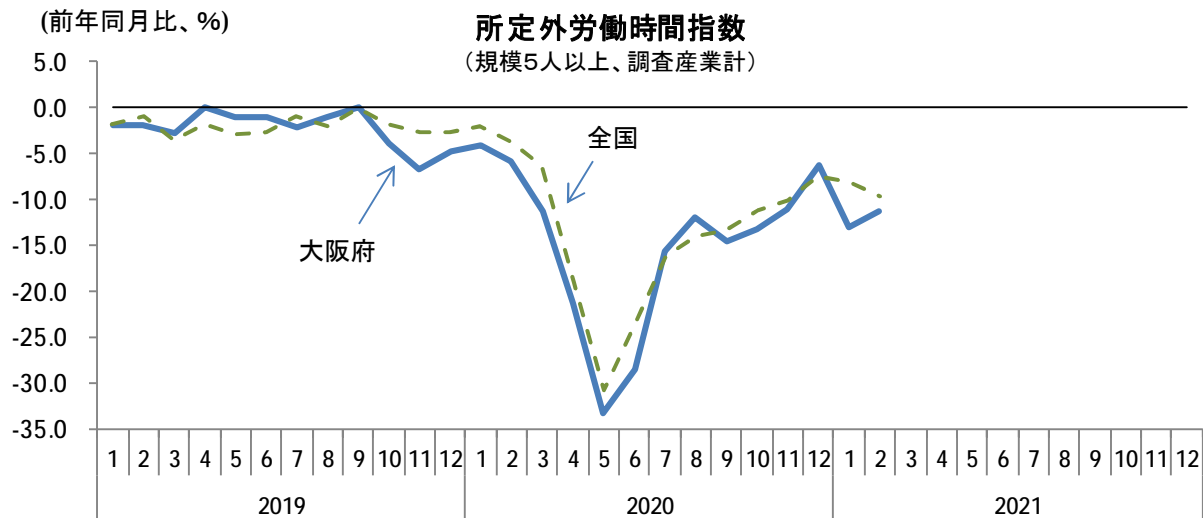
	21年1月	2月	3月
産業計	▲14.6	▲14.2	▲5.1
建設業	0.4	▲4.5	21.5
製造業	▲22.7	▲17.5	▲0.9
卸売業、小売業	▲23.4	▲29.7	▲15.6
宿泊業、 飲食サービス業	▲9.3	▲22.1	▲31.2
医療、福祉	▲7.4	▲5.1	▲5.1

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

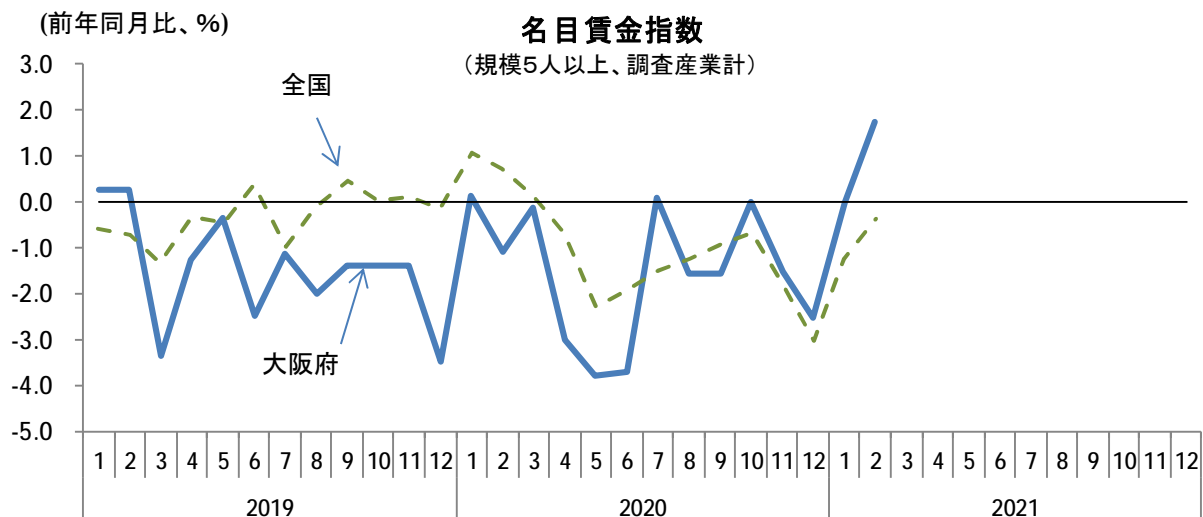
○所定外労働時間指数【大阪府(2月)は17ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2015年=100)による。

		21年1月	2月	3月
指数	大阪府	77.1	81.0	
前年比 (%)	大阪府	▲13.0	▲11.4	
	全国	▲8.0	▲9.7	

○名目賃金指数【大阪府(2月)は7ヶ月ぶりの上昇。】

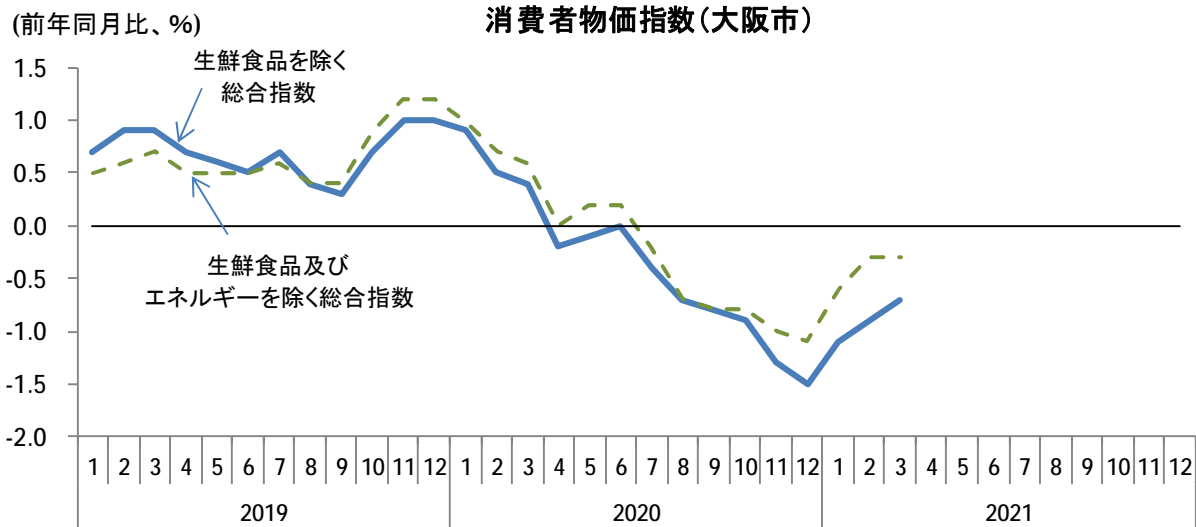


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2015年=100)による。

		21年1月	2月	3月
現金給与総額(円)	大阪府	274,657	275,235	
前年比 (%)	大阪府	0.0	1.7	
	全国	▲1.3	▲0.4	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は9ヶ月連続の低下。「食料」「光熱・水道」が低下に寄与。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は9ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2015年=100。

総合指数

		21年1月	2月	3月
指数	大阪市	100.5	100.4	P 100.6
前年比 (%)	大阪市	▲1.1	▲0.9	P ▲0.8
	全国	▲0.6	▲0.4	▲0.2

生鮮食品を除く総合指数

		21年1月	2月	3月
指数	大阪市	100.0	100.2	P 100.4
前年比 (%)	大阪市	▲1.1	▲0.9	P ▲0.7
	全国	▲0.6	▲0.4	▲0.1

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		21年1月	2月	3月
指数	大阪市	100.9	101.1	P 101.2
前年比 (%)	大阪市	▲0.6	▲0.3	P ▲0.3
	全国	0.1	0.2	0.3

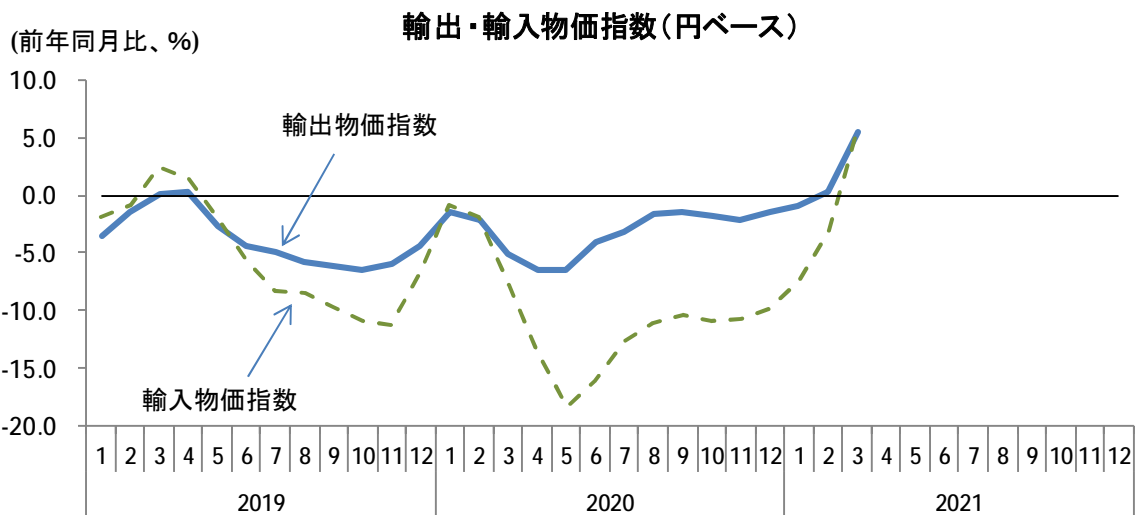
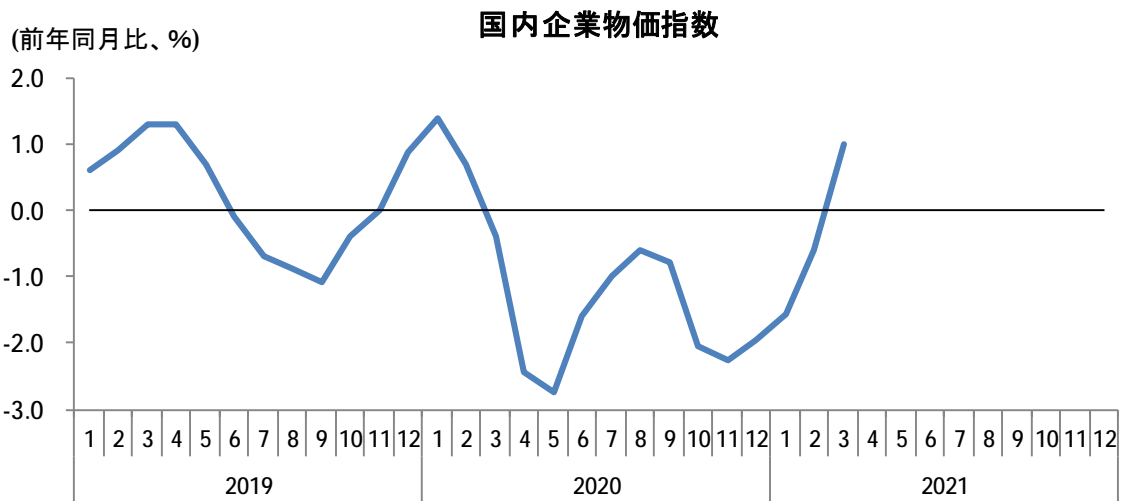
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、3月速報)

上昇	住居(1.2): 設備修繕・維持(火災・地震保険料、システムキッチン、温水洗浄便座)
低下	食料(▲2.2): 肉類(牛肉(輸入品)、牛肉(国産品)、ベーコン)、果物(りんご、オレンジ、みかん)
	光熱・水道(▲5.5): ガス代(都市ガス代)、電気代(電気代)

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は2015年=100。

企業物価指数

	21年1月	2月	3月
国内企業物価指数	100.7	101.3	P 102.1
輸出物価指数	91.5	92.8	P 95.4
輸入物価指数	87.1	91.1	P 94.6

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2015年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(3月速報、寄与度(%))

石油・石炭製品 (0.36) : ガソリン、軽油、灯油
非鉄金属 (0.14) : 銅地金、電力・通信用メタルケーブル、銅荒引線
化学製品 (0.11) : キシレン、ビスフェノールA、スチレンモノマー
—